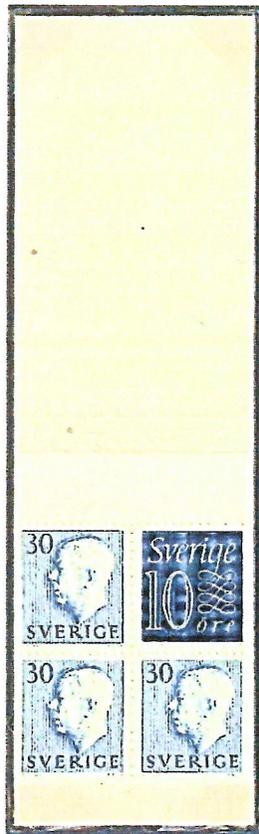


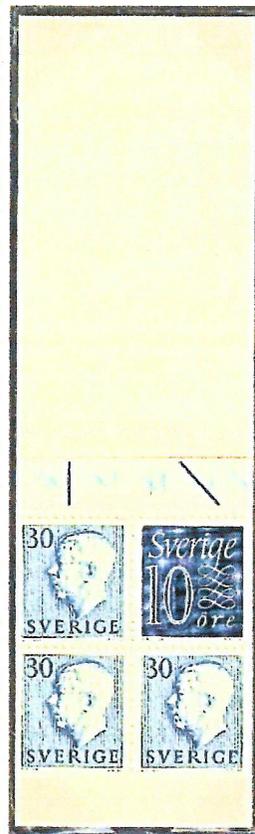
Type II 30 öre Blue
Slot-machine booklets HA6
1957.9.22



(縮小率 75%)



HA6 RH



HA6 RH
Register mark 「|」, Oblique line 「\」

SWEDEN - グスタフ 6 世「タイプ II」の自動販売機用切手帳

岩松 健一

グスタフ 6 世（国王在位：1950～1973）シリーズは、凹版のデザインにより、タイプ I（1951～57）・タイプ II（1957）・タイプ III（1961～71）の 3 つに分類されています。

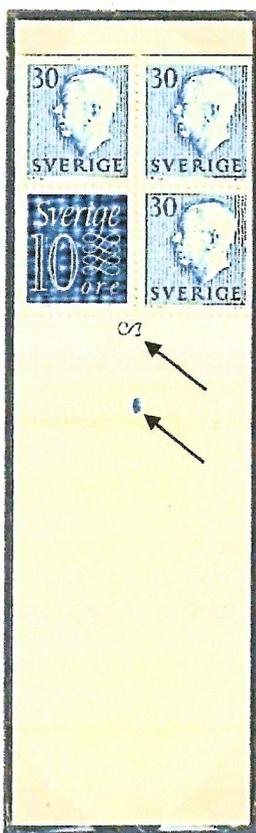
Type II 30 öre Blue

Slot-machine booklets HA6

1957.6.1



HA6 OV



HA6 OV
シリンダー番号「2」
表紙の内側ページに青い四角形



HA6 OV
シリンダー番号「2」

タイプIIの切手は、15・20・25・30・40 エーレの5額面が発行されており、また、切手帳は、「自動販売機用の切手帳 (Slot-machine booklet)」と、「機械で製造された窓口販売用の切手帳 (Machine-produced booklet)」の2種類があります。ここでは、タイプII「自動販売機用の切手帳 (Slot-machine booklet)」の「30 エーレ・青」についてご紹介します。

1. 自動販売機用切手帳「30 エーレ・青」の概要

切手帳「30 エーレ・青」の構成は、額面 30 エーレ×3 枚、10 エーレ×1 枚の計 4 枚で、販売額は 100 エーレ=1 クローネです。

ペーンは、下図のように4パターンあり、耳紙が上部に位置する①RH「正マウント」がスタンダードで、耳紙が下部に位置する②OHが「逆マウント」になります。また、③RVと④OVは、30 エーレと 10 エーレの配置が、①RHと②OHに対し、「逆」になっています。

①RH	②OH	③RV	④OV
耳紙		耳紙	
30 10	30 30	10 30	30 30
30 30	30 10	30 30	10 30
	耳紙		耳紙

2. リーフの解説

(1) 表紙のリーフ

切手帳は、ペーンの配置がスタンダードな①RHで、右側の切手帳の耳紙には、縦線のレジスターマークと斜線が印刷されています。レジスターマークは、印刷の位置決めに使用されたものです。

(2) 左のリーフ

いずれもペーンの配置が④OVの切手帳で、中央と右の切手帳は、耳紙にシリンダー番号「2」と表示されています。また、中央の切手帳は、シリンダー番号に加え、内側ページに青い四角形が印字されており、FACIT カタログ 2025 年版では、通常の OV に比べ約 2.4 倍で評価されています。

- ・スウェーデンには、「全国切手帳収集家協会」(会員数は約 300 名)があり、切手帳収集の活性化を目指して活動しています。

【例会記録】

日時：2025年8月10日（日）13：30～15：00

会場：東部公民館2階 C会議室

出席者：出口・山本・蜂谷・郷・細井・岩松の6名

例会の主な内容

1. 会員相互による郵趣品の譲渡

引き続き姫野氏から提供していただいた、紙つき切手・未使用および使用済普通切手（満月印含む）や、記念切手・初日カバー・ステーションナリー（普通はがき・記念特殊はがき他）・外国切手・貴重な文献類（CD版等含む）・未使用のパソコンリーフ並びにストックリーフ等の郵趣用品を出席会員で分譲しました。

2. 今月の寄稿「日本の航空切手の銭単位と円単位」について

細井氏より、支部報に掲載した五重塔航空と立山航空の銭・円単位における、発売期間などについて説明がありました。

3. 支部報の寄稿について

401号（2025年5月）から始まった会員による寄稿は、407号（11月）を持ちまして一巡することになります。408号（12月）以降も、引続き順番で寄稿していただくことになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

4. 交換支部報の回覧

5. 郵趣関連の情報交換

細井氏より、紙付き切手の中から、熊本中央局の貴重な消印について解説がありました。

【次回の例会日程】

10月13日（月）13：30～16：00 東部公民館2階 A会議室

・10～11月は、会場の都合により、定例である毎月第2日曜の開催日が変更となっていますのでご注意ください。

*年内の例会日程

11月23日（日）13：30～16：00 東部公民館2階 A会議室

12月14日（日）13：30～16：00 東部公民館2階 A会議室

表紙・本編の寄稿：岩松 健一

記録：岩松 健一

編集・発行：岩松 健一